

祈り

祈り——それは神と私たちの魂との交わりの通路です。神はみ言葉を通して私たちに語りかけ、私たちは祈りを通してその語りかけに応えます。そして神は、いつも私たちの祈りに耳を傾けてくださいます。私たちがどれほど頻繁に、絶え間なく祈ろうとも、そのことによって神がうみ疲れしたり、煩わしく思ったりすることなどは決してありません。

(『祈り』5頁)

祈りとは、友だちに語るように心を神に打ち明けることです。これは、何も私たちがどんな者であるかを神に知らせる必要があるからではなく、私たちが神を受け入れるのに必要だからです。祈りは、神を私たちにまで呼び降ろすのではなく、私たちが神のもとへ引き上げるのです。(『希望への光』1967頁、『キリストへの道』改訂第3版131頁)

現在、私たちはきわめて憂慮すべき、危機の時代に生きています。世界に起きる深刻な諸事件を目の当たりにする時、キリストに従う者としての私たちには、今こそ真剣に、本気で神との交わりを密にすべきことが求められているのではないのでしょうか。神との関係をより堅固なものとし、心と霊の必要をより豊かに満たすためには、私たちは祈りの力について学ばなければなりません。かつての主イエスの弟子たちのように、「主よ、……わたしたちにも祈ることを教えてください」と最も切に懇願しなければならない時代があるとすれば、それはまさに今です。

(『祈り』5頁)

神の御心を行って約束されたものを受けするためには、忍耐が必要なのです。

(ヘブライ 10 : 36)

われわれがこのようにして求めなければ与えられないものが、信仰の祈りにこたえて、われわれにさずけられることが、神のご計画の一部である。

(『希望への光』1853頁、『各時代の争闘』下巻270頁)

私たちはサタンが私たちに投げかける暗い雲を貫いて嘆願を送らねばならない。……応答は遅いように思われるかもしれないが、そうではない。嘆願は受け入れられ、その答えは嘆願者にとって最善となるときに、また要求の実現が私たちの永遠の利益にかなうときに与えられる。私たちの天国への道が明るく照らされるように、神は私たちの道の至るところにご自分の祝福をまき散らしてくださる。

(『今日の光 天上で』2021年第2期4月28日)

わたしたちが罪を犯した、祈ることができず感じる時こそ、まさに祈るべき時なのである。恥じ、誇りをいたく傷つけられているかも知れないが、祈り、かつ信じなければならぬ。

(『希望への光』1171頁、『祝福の山』145頁)

主は心の砕けた者に近く、
たましいの悔いにくずおれた者を救われる。
正しい者には災が多い。
しかし、主はすべてその中から彼を助け出される。
(詩篇34:18-19 口語訳〈新共同訳34:19-20〉)

わたしたちは子供のような単純さで、主にわたしたちの必要なものを申し上げることができる。わたしたちは、主に命のパンとキリストの義の衣を求めると同じように、パンや衣服などこの世のものを主に申し上げることができる。あなたの天の父は、これらすべてのものがあなたに必要であることを、知っておられる。あなたはそれらについて、神に求めるように招かれているのである。(『希望への光』1179頁、『祝福の山』166頁)

すべての恵みは、イエスの名によって与えられる。神はその名を尊び、あなたの必要を、豊かな富のうちから惜しむことなく満たしてくださる。 (同上)

しかし、父と呼んで神のみもとにくる時、あなたは自分が神の子であると認めるのを忘れてはならない。神のいつくしみに信頼するばかりでなく、神の愛が変わらないことを知って、万事において神のご意思にまかせることである。神のお働きをなすために、あなた自身をささげることである。 (同上)

イエスが、「求めなさい。そうすれば与えられるであろう」という約束をお与えになったのは、まず、神の国とその義とを求めよとお命じになった人々に対してであった。 (同上)

両親は子どもたちの周りに垣を設けるべきである。彼らは強い信仰をもって、神が自分たちと共におられるように、また聖なる天使がサタンの残虐な力から自分たちと子供たちを守ってくれるように祈るべきである。

(『今日の光～天上で』2021年第1期3月24日)

両親方、少なくとも朝と夕、あなた自身と子どもたちのために謙遜な嘆願によってあなたの心を神にささげなさい。あなたの愛する者たちは誘惑と試練にさらされている。苛立ちと不機嫌が老人と若者の道を日ごとに悩ます。日ごとの思い煩いの中であって、忍耐と愛と快活さをもって生きようとする者たちは祈らねばならない。この勝利は決然とした、揺るがない目的、絶えざる警戒心、神からの継続的な助けによってのみ獲得することができる。 (同上)

小さな集まりを組織して、夜に、昼に、または早朝に聖書を研究するために集まるようにしなさい。聖霊によって力づけ、啓発され、清められるために、そこで祈りの時間を持ちなさい。
(『今日の光～天上で』2021年第1期3月26日)

もしあなた自身が扉を開いて、それを受け入れるなら、大いなる祝福があなたに与えられる。神の天使たちがあなたの集会の中にいる。あなたは命の木の葉によって養われる。
(同上)

一緒に祈ることはそれぞれの心を永続する絆によって神に結ぶ。
(同上)

共に集まり、ご自分のみ名について瞑想した者たちを、神は覚えていて、彼らを大いなる災いから守ってくださる。彼らは神の目に尊い宝石のようになる。
(同上)

主の祈りの中に、私たちは完全な嘆願についての模範を与られている。それは単純であるが、包括的なものである。この祈りを子どもたちに教えるべきである。私たちはそれに含まれる原則を注意深く研究すべきである。神の民の祈りに応答して、天使たちは天の祝福をもって遣わされる。……私たちが日ごとの祈りと献身によって天の父なる神と語るとき、神は私たちに豊かな祝福を注いでくださる。

(『今日の光～天上で』2021年第1期3月27日)

神の民はこの時期、誠実で熱心な祈りの時間を頻繁に持つべきである。いつでも祈りに満ちた態度を持つように心がけるべきである。家庭でも教会でも、み言葉の宣教に献身した人たちのために熱心な祈りをささげなさい。 (同上)